

2018年3月期 決算説明会

2018年5月23日

アイエックス・ナレッジ株式会社

JASDAQ(9753)

2018年3月期 決算の概要

トピックス

2018年3月期

4月	新入社員60名入社 管理部門再編 一般社団法人 ブロックチェーン推進協会入会 顧客2社から表彰、1社からパートナー認定	8月	自己株式 163,000株取得
5月	自己株式 50,000株取得 顧客2社から表彰、1社からパートナー認定	9月	顧客1社から表彰 ロボット&プログラム体験教室 上半期3回開催
6月	「iMPLEO」「i-Connection」拡販向け APPS JAPAN2017出展 自己株式 55,000株取得 顧客1社からパートナー認定	10月	顧客1社から表彰
		12月	自己株式 600,000株消却
		1月	顧客2社から表彰 RPAソリューションサービス開始
		3月	ロボット&プログラム体験教室 下半期2回開催

市場環境と当社の取組み

市場・ユーザー環境

サービス強化やビジネスモデルの変革
を目的とした「攻めのIT」

業務効率やコスト削減
を目的とした「守りのIT」

↓ IT投資の拡大

↓ IT投資の復調

IT利活用⇒IoT、ビッグデータ
新技術⇒AI、ロボティクス

基幹系システム、情報系システム
の開発や再構築

IKI VISION 2020

① 中核事業の拡大

② 次期成長事業の創出

③ 事業基盤の強化

業績における影響要因

プラス要因

システム検証案件の
拡大

RAID案件から車載
組込み案件へシフト

部門間接費の削減
残業時間の抑制
選択と集中の推進

マイナス要因

金融系システム
開発案件縮小

大手SIベンダーからの
システム開発案件縮小

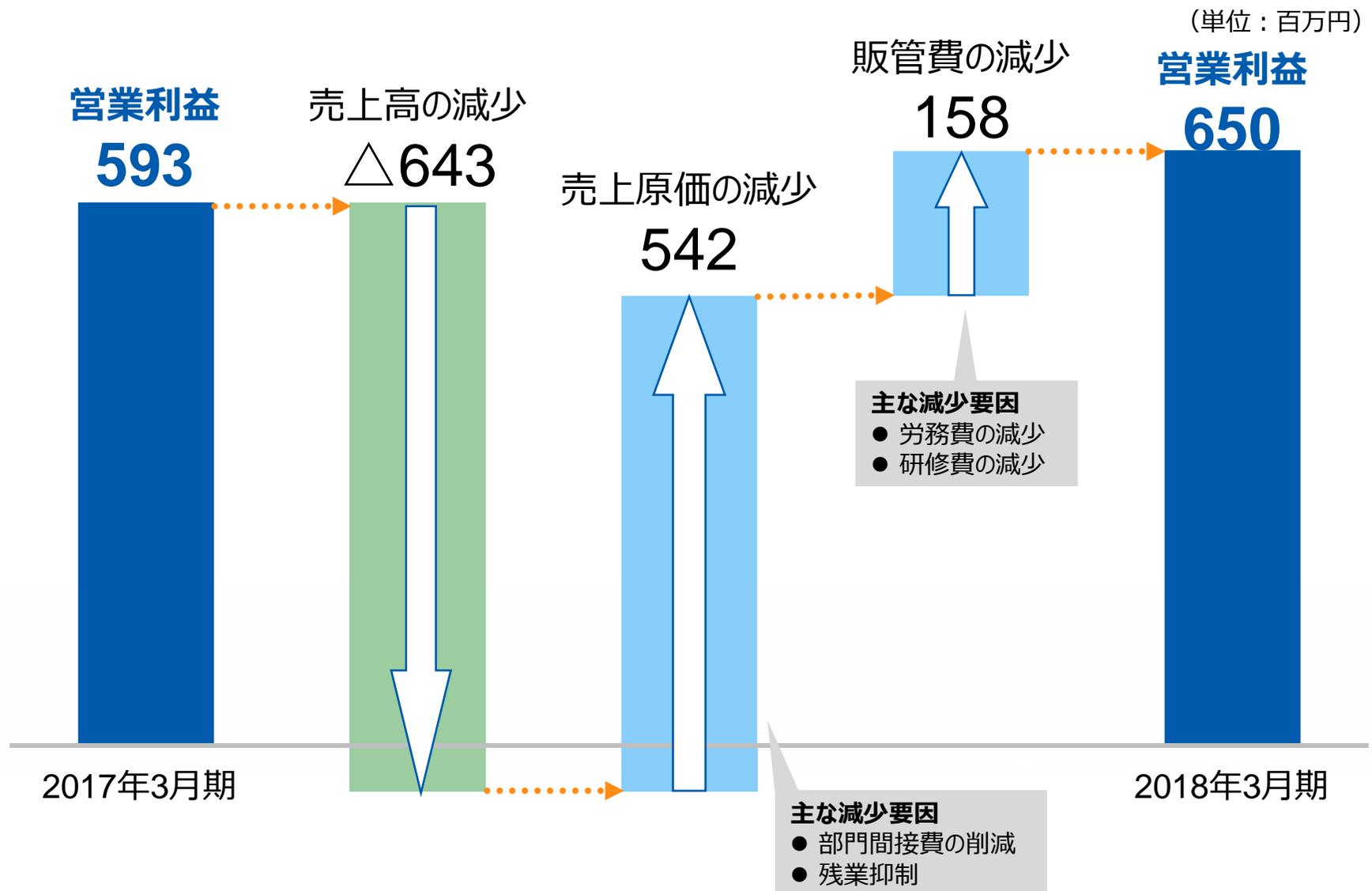
地方事業所での
システム開発案件縮小

2018年3月期 経営成績

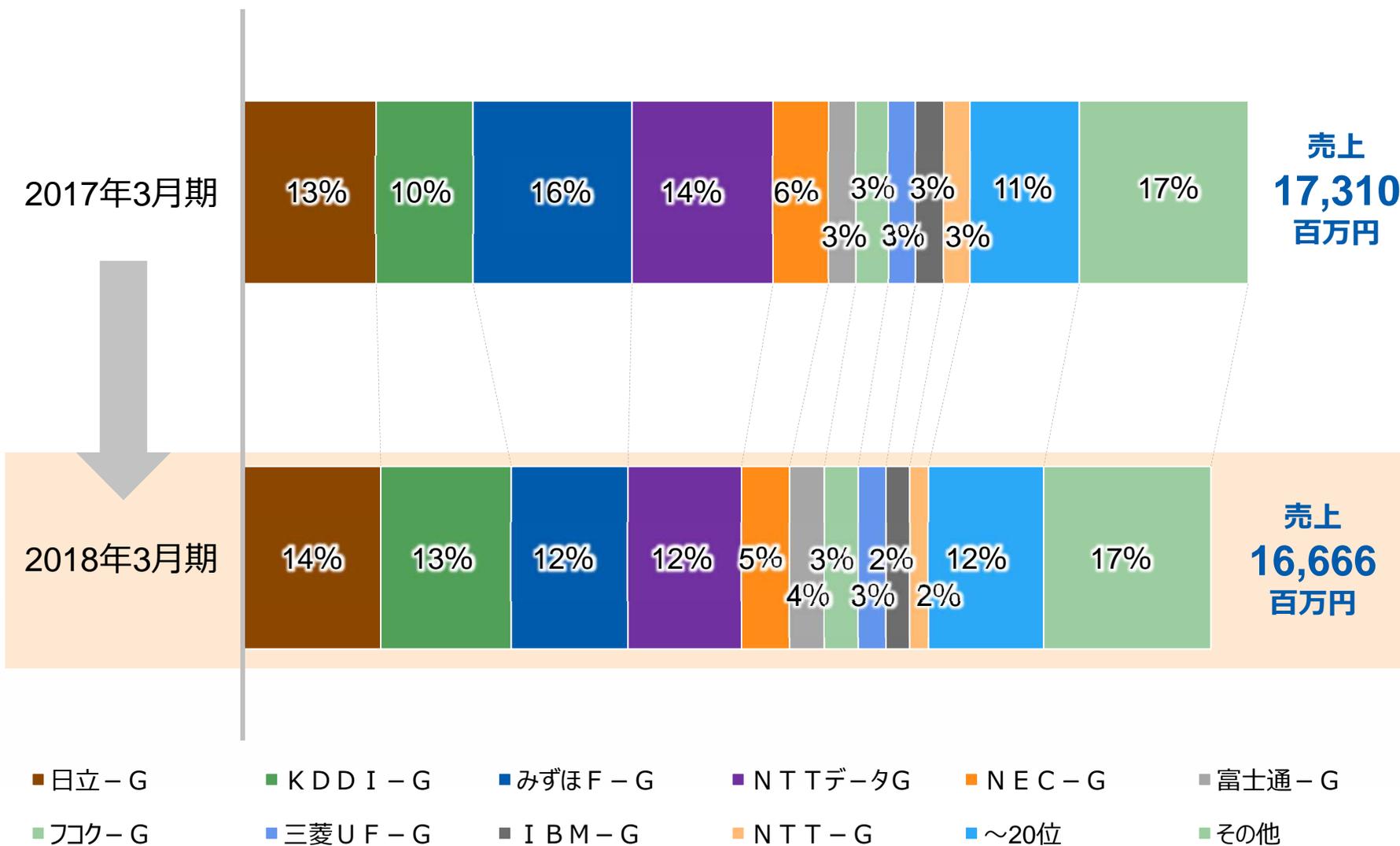
(単位：百万円)

	2017年3月期	2018年3月期	増減額	増減率
売上高	17,310	16,666	△643	△3.7%
売上原価	14,479	13,937	△542	△3.7%
売上総利益	2,830	2,729	△101	△3.5%
売上総利益率	16.4%	16.3%	—	—
販管費	2,237	2,079	△158	△7.0%
営業利益	593	650	57	9.5%
経常利益	633	692	59	9.4%
当期純利益	407	465	58	14.0%
配当金	10円	10円	—	—

営業利益の変動要因



顧客別売上構成

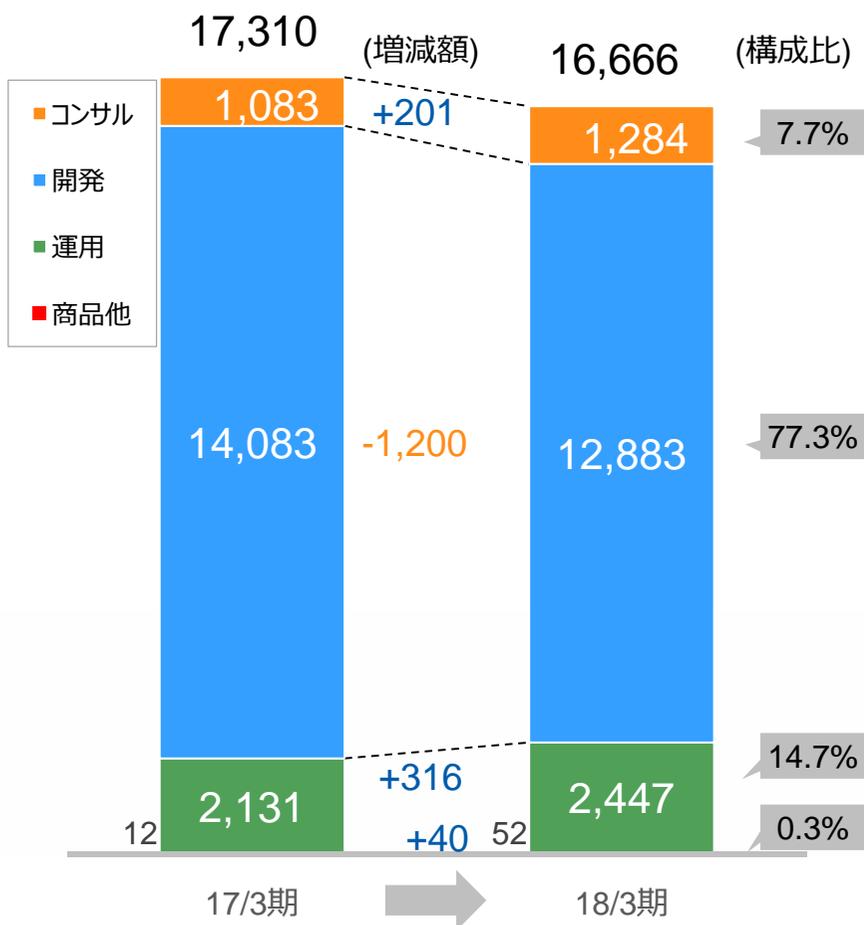


※グラフ中の数値は、売上全体に占める割合を表しています

カテゴリ別売上構成

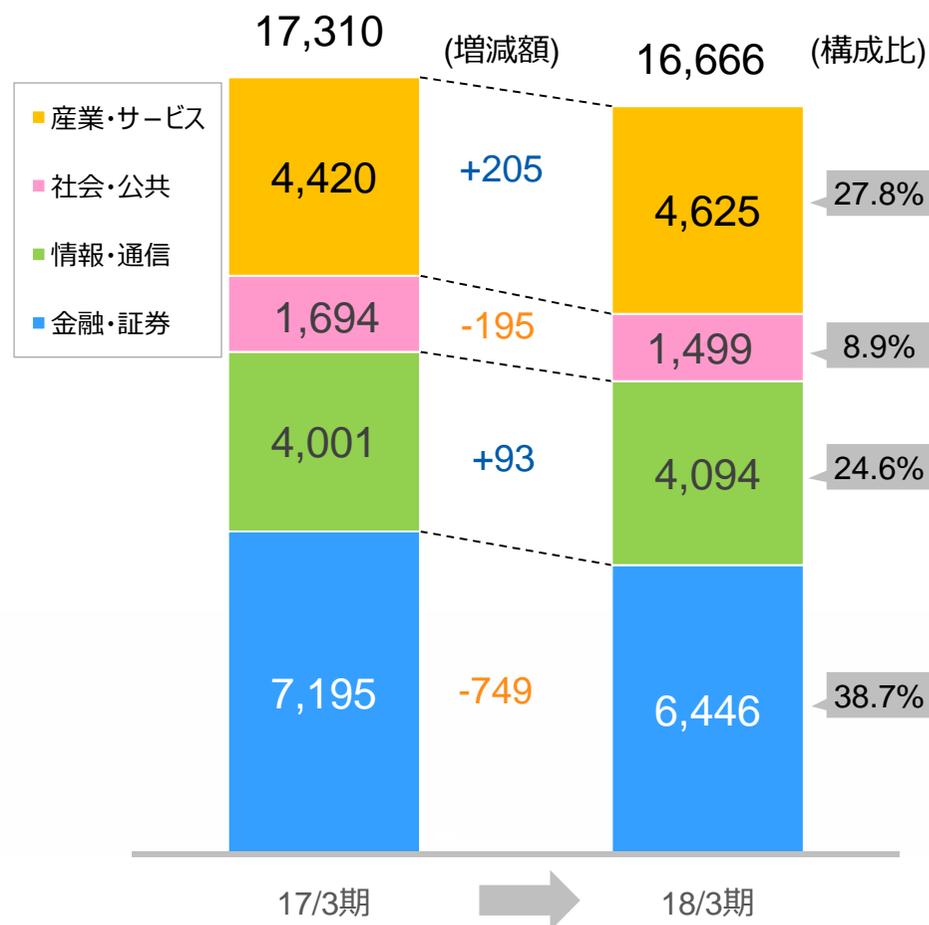
品目別

(単位：百万円)



業種別

(単位：百万円)

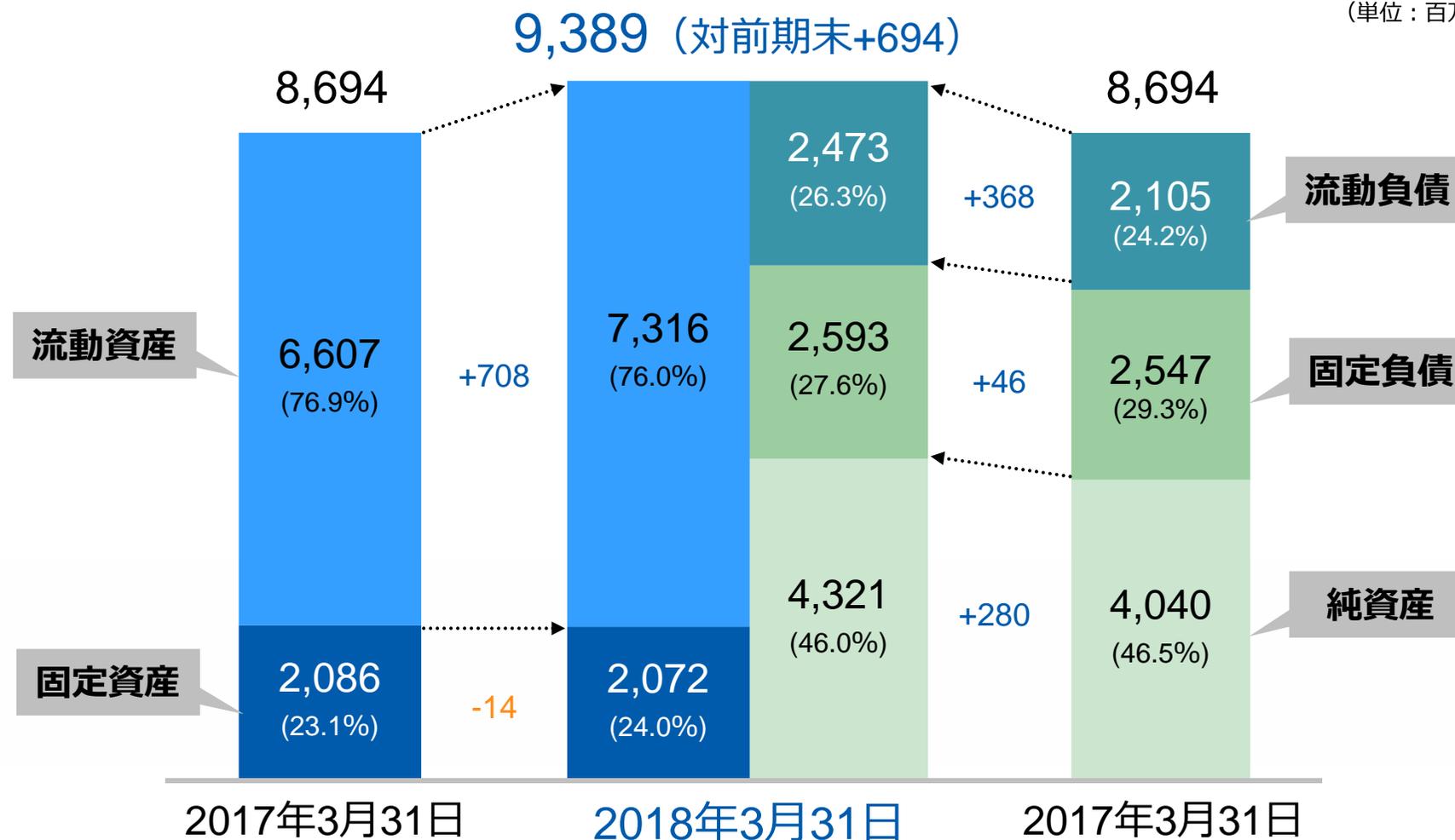


貸借対照表

資産の部

負債・純資産の部

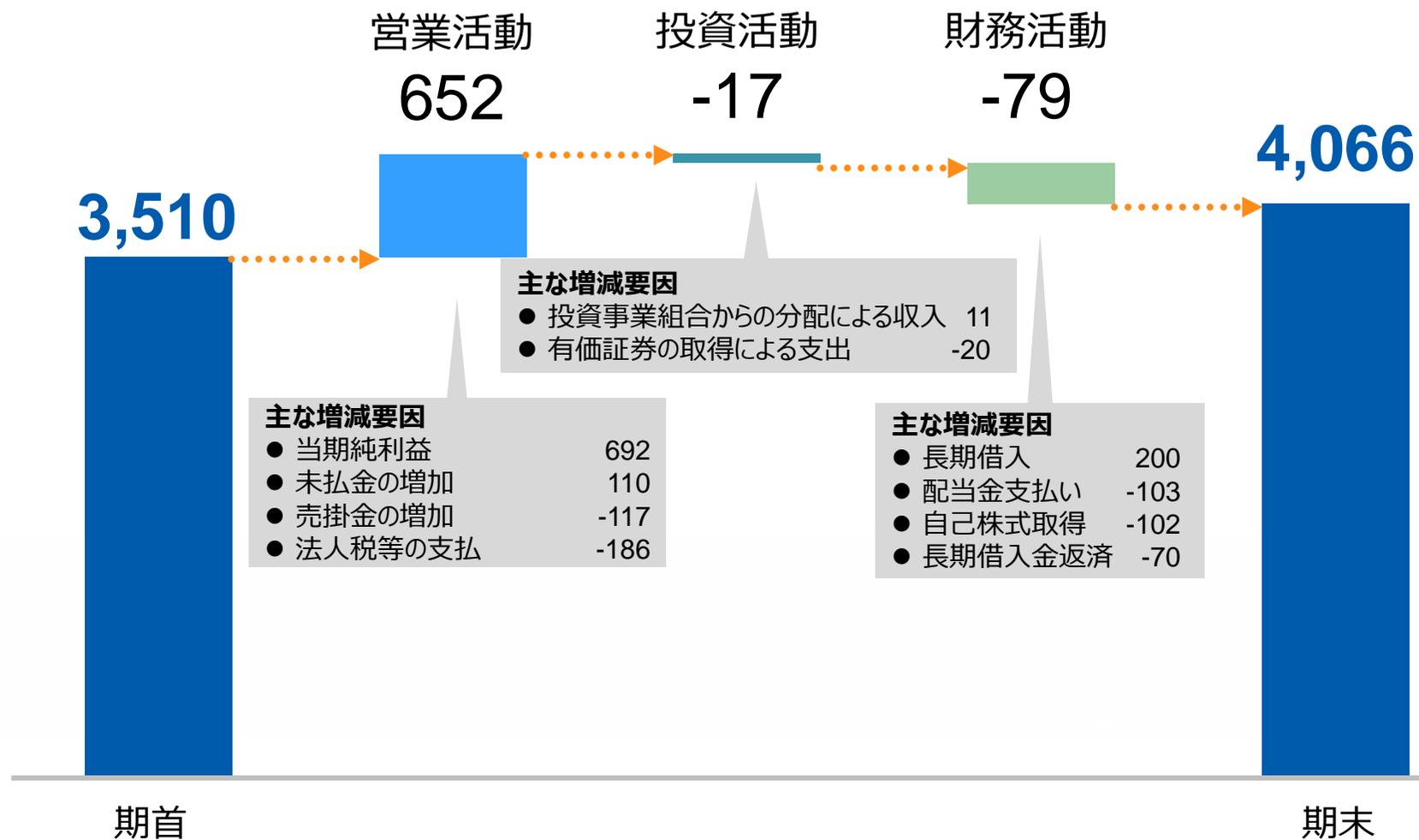
(単位：百万円)



キャッシュ・フロー

2017年4月1日～2018年3月31日

(単位：百万円)



2019年3月期 業績見通し

IKI VISION 2020

①中核事業の拡大

注力事業に経営資源を集中し、収益基盤としての中核事業を拡大する。

②次期成長事業の創出

「攻めのIT」分野など顧客ニーズに対応できる体制の構築、新技術への取り組みにより次期成長事業を創出する。

③事業基盤の強化

働き方改革の推進や高収益体質への変革を実現し、事業基盤の強化を図る。

- ・いきいきとした社員が
- ・高付加価値サービスを提供し
- ・お客様から高い信頼を得る

2018年度機構改革

機構改革

事業統括本部制

製販一体

事業所組入

相互
連携

オープン
イノベーション
戦略事業部
創設

顧客ニーズへのスピード対応
本社と事業所のシナジー創出

協業推進での
高付加価値
サービス提供

I K I の取り組み

①中核事業の拡大

業種	市況	I K I の取り組み
産業・サービス	↗	<ul style="list-style-type: none"> • 車載関連案件の好調にともない受注拡大に注力する • 各種エンドユーザー系システム開発案件が見込まれる
社会・公共	→	<ul style="list-style-type: none"> • 社会インフラ（鉄道、エネルギー等）系システム開発案件の受注拡大を目指す
情報・通信	↗	<ul style="list-style-type: none"> • 大手通信会社向け第三者検証案件の受注拡大に注力する
金融・証券	→	<ul style="list-style-type: none"> • マイナス金利の影響とメガバンクの次期シス収束により減少傾向 • 市場系、資産運用系の開発案件の受注拡大を目指す

IKIの取り組み

②次期成長事業の創出

「変革から進化へ」
お客様の新ビジネス対応への新たなソリューションの提供

お客様との共創

IKI
豊富な業務知識と
多種多様な技術

お客様
ビジネスモデルの変革

IT活用によるお客様のサービス・収益向上に貢献

I K I の取り組み

③事業基盤の強化

利益率向上施策の実施

- 業務改善による生産性向上に取り組む
- 事業の選択と集中の加速

人材の確保・育成

- スキルマップの活用による人材育成（プロジェクトマネージャー、スペシャリスト）
- 人材ローテーションの推進
- コアパートナーとの連携強化、新規パートナー確保

働き方改革の推進

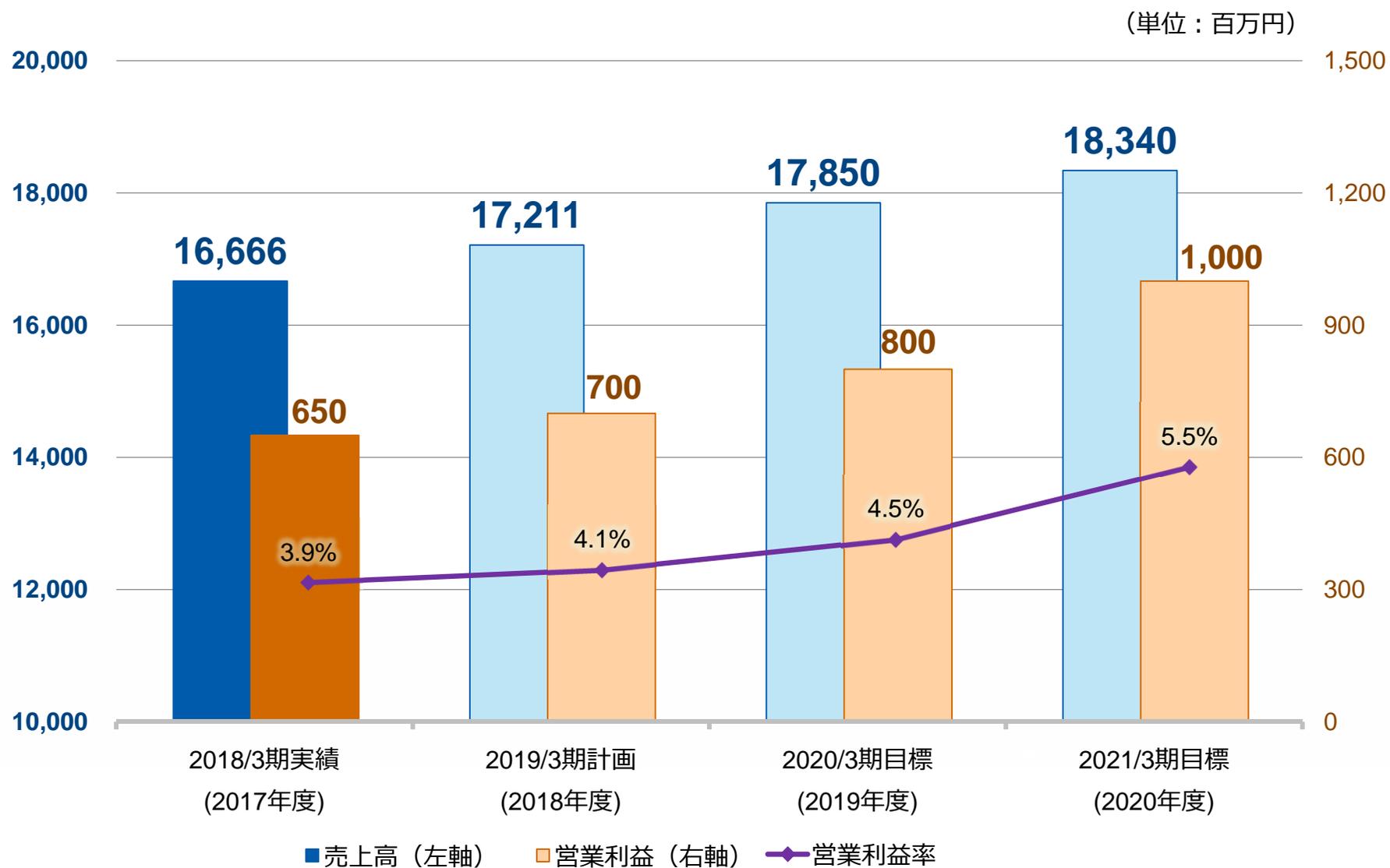
- 長時間残業削減の継続
- 仕事と家庭の両立支援
- 女性活躍の推進（管理職への女性登用など）

2019年3月期 業績予想

(単位：百万円)

	2018年3月期 実績	2019年3月期 予想	差額	比率
売上高	16,666	17,211	545	3.3%
売上原価	13,937	14,279	342	2.5%
売上総利益	2,729	2,931	202	7.4%
売上総利益率	16.3%	17.0%	0.7P	—
販管費	2,079	2,231	152	7.4%
営業利益	650	700	49	7.7%
経常利益	692	739	46	6.7%
当期純利益	465	486	21	4.6%
配当金	10円	10円	—	—

中期業績目標





IX Knowledge Inc.

本日はご多用中にもかかわらず、説明会へお越しいただき誠にありがとうございました。

当資料は現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる場合がございますこと、予めご承知いただきますようお願い申し上げます。

お問合せ先
経営企画本部 経営管理部
電話 03-6400-7010
E-mail ir@ikic.co.jp
URL <https://www.ikic.co.jp>